

# 第59回九州保育事業研究大会開催要綱

〈大会主題〉

すべての人が

子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして

## 1 趣 旨

平成22年6月25日、「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」を子ども・子育て新システム検討会議が取りまとめました。その中で、国・都道府県の役割、市町村の権限と責務を記載されています。また、それに先立つ6月22日、一括交付金の対象範囲に関する整理方針が明示された「地域主権戦略大綱」及び医療・介護・保育等に対する必要な資金投入は、国民全体でという「財政運営戦略」も閣議決定されました。いよいよ23年度通常国会に所要の法案が提出されることとなりました。

一方、九州地区の九社連保育協議会・九州私立保育園連盟・日本保育協会九州地区連合会の三団体では、昨年児童福祉法第24条に基づく公的保育制度の堅持・拡充、待機児童解消のため国の責任において認可保育所の整備、児童福祉施設最低基準の後退阻止に関し、保護者を巻き込んで署名を伴う要望書提出活動を行いました。

全国保育協議会では、子どもの育ちを保障する質の維持・向上のために、意見を表明するとともに、制度改悪にむかう動きについては、今後も反対の意思表示が行われます。

平成23年度も、昨年同様に保育所がこれまで展開してきた保育の営みを広く社会にアピールしなければならない大切な年となります。

そこで、第59回九州保育事業研究大会では、こうした保育をめぐる情勢や全保協の事業・活動をふまえ、これからの保育所の社会的な意義・役割について認識を深めるとともに、組織協働をもって、子どもの最善の利益の保障にむけ広く社会に提言いたします。また、さまざまな側面から保育・子育て支援に関する研究協議を深め、それらを具体的実践につなげることにより、保育・子育て支援の質の向上をはかることを目的に開催いたします。

## 2 主 催 (予定)

九州社会福祉協議会連合会  
九州社会福祉協議会連合会保育協議会  
社会福祉法人熊本県社会福祉協議会  
熊本県保育協議会  
社団法人 熊本市保育園連盟

## 3 後 援 (予定)

厚生労働省・熊本県・熊本市  
社会福祉法人全国社会福祉協議会・全国保育協議会・全国保育士会

## 4 期 日

平成23年7月7日(木)～8日(金)

## カテゴリー1:子どもの育ちを保障する

保育所の大きな役割は、子ども自身が自ら持っている発達する力を生かし、側面的に支援することとおして、その子どもの発達を保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深め、また、その保育を実践する人材の育成、研修の充実に取り組みます。

分絵	テーマ	意見発表者・助言者	定員
1	<b>「保育所保育指針に基づく質の高い保育を提供する」</b> 保育所保育指針では、各保育所における創意工夫のもと、保育課程に基づいた保育の質の向上にむけた実践が求められます。また、子ども一人ひとりの育ちに応じた保育のために保育の個別計画により保育の充実を図るなど、より質の高い保育の提供にむけた取り組みがすすめられてきています。また、保育士の自己評価、保育所の自己評価の導入や、第三者評価の見直しなどが進められようとしています。本テーマでは、新保育所保育指針に基づき、各保育所が保育の質を向上していくための、具体的手法や実践について深めます。	<b>(意見発表者)</b> 長崎・熊本・鹿児島 <b>(助言者) 2名</b> 尚綱短期大学 塩崎 美穂 氏 高田あけぼの保育園 福田 裕子 氏	320名
	<b>「配慮を必要とする子どもの保育の充実」</b> 保育所において、発達障害など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されてきています。保育現場では、子どもの発達を保障するために、保護者と協力しながらより適切な対応をしていく必要性が高まっています。本テーマでは、配慮を必要とする子どもの保育をめぐる今日的な状況を踏まえ、子どもや家庭への支援のあり方、関係機関との連携等について研究を深めます。	<b>(意見発表者)</b> 福岡・佐賀・大分 <b>(助言者) 2名</b> 熊本大学 間部 裕代 氏 九品寺保育園 矢野 理恵 氏	
3	<b>「保育者の資質向上を図る」</b> 保育所保育指針では、質の高い保育の提供にむけて、職員の資質および職員全体の専門性向上を図ることが示されています。また、そのための研修を体系的、計画的に進めることなどが施設長の責務とされています。本テーマでは、保育所内外の研修のあり方や保育士の自己評価など、保育所職員の資質向上にむけた効果的な実践や、そのあり方などについて研究を深めます。	<b>(意見発表者)</b> 熊本・宮崎・沖縄 <b>(助言者) 2名</b> 中九州短期大学 永野 典詞 氏 宮原慈光保育園 源 喜美子氏	180名

## カテゴリー2:子育てライフを支援する

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所は、多様化する働き方と子育て家庭のニーズに応えるための機能を充実し、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

分絵	テーマ	意見発表者・助言者	定員
4	<b>「地域の保護者支援の充実</b> <b>～保育所利用家庭、地域の子育て家庭にむけて～</b> 保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられました。本テーマでは、地域における子育て・子育てを支援するために、保育所と保護者が十分に連携し、子どもの成長をともに分かちあえる関係づくりを目標として、保育所利用者、さらには地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。	<b>(意見発表者)</b> 佐賀・大分・鹿児島 <b>(助言者) 2名</b> 九州ルーテル学院大学 潮谷 愛一 氏 あゆみ保育園 田中 昭子 氏	120名

### カテゴリー5:子育て・子育てを支援する仕組みをつくる

わが国の家族関係の給付のGDPに占める割合は0.75%と諸外国のなかでもとても低い水準です。こうした環境を改善するとともに、日本の未来の社会を担う子どもを中心に、子どもたちが豊かに育つ環境を社会全体が支えていく仕組みについて研究・提言します。

分科会	テーマ	意見発表者・助言者	定員
8	「公立保育所の使命と地域社会での役割」	(意見発表者) 福岡・鹿児島・沖縄 (助言者) 熊本市(予定)	60名
	「子どもと家族を応援する日本」重点戦略や待機児童ゼロ作戦の考え方をもとにした次世代育成支援法に基づく後期行動計画が平成22年度より実施されます。この計画では、すべての子どもと子育て家庭を対象として、地域の実情に合わせた支援の実施が求められています。 本テーマでは、こうした背景を踏まえ、市町村行政と一体である公立保育所の特性を踏まえ、公立保育所の地域における役割や具体的実践のあり方などについて、全保協の「公立保育所アクションプラン」をもとに研究を深めます。		

分科会	テーマ		定員
特別	「制度改革と保育所の未来」(案)	(コーディネーター) 長崎国際大学 潮谷 義子 氏 (シンポジスト) 行政、保育関係者、保護者などを予定	150名
	少子化、過疎化、都市部の待機児童問題と様々な問題がある中で、保育制度はどのように変わっていくのでしょうか。 子どもの健やかな育ちを支えるための制度改革と保育所の未来について研究します。		

## 10 参加者及び参加人員

- (1) 参加者
- ア 保育施設役員、職員
  - イ 社会福祉協議会役員、職員
  - ウ 県、指定都市、市町村保育関係者
  - エ その他保育事業関係者
- (2) 参加人員 1,500人

## 11 研究討議

- (1) 研究討議は分科会において行い、分科会に運営委員を置く。
- (2) 分科会
- ア 第1～第8分科会の進行は座長、特別分科会の進行は司会(コーディネーター)があたる。(調整中)
  - イ 座長は研究課題に基づいて問題提起を求め、その後、意見を中心に参加者による研究討議を行う。
  - ウ 司会(コーディネーター)は研究課題に基づいてシンポジストから意見を求め、また、それについて参加者の質問を受け、意見の報告及び調整などをする。
- (3) 総会
- ア 議事の進行は、議長1人、副議長2人により行う。
  - イ 総会における緊急動議は認めない。

19 グルメコースのご案内 <7月7日(木)>

コース	Aコース 『城見櫓』	Bコース 『菅乃屋』	Cコース 『KKRホテル熊本』	Dコース 『紅蘭亭』
ご案内	郷土料理会席 天草大王を中心に熊本名物の馬刺しや伝統的な食材のからし蓮根などに加え、県産の食事を使用した新しい郷土料理。	馬肉料理 自社牧場・自社工場での一貫生産としており、新鮮さあふれる創作馬肉料理。	熊本城を見ながらの会席料理 日本の三名城「熊本城」から一番近く落ち着いた雰囲気と緑豊かなホテルでのお食事。	中華料理 1,934年創業の老舗で創業時と変わらない味付けの太平燕(タイピーエン)は低カロリーで若い女性の方に大人気。
費用	5,000円(飲料代別)	5,000円(飲料代別)	5,000円(飲料代別)	5,000円(飲料代別)
集合場所	各自ご集合	各自ご集合	各自ご集合	各自ご集合
集合時間	19:00	19:00	19:00	19:00
地図番号				

20 宿泊施設のご案内 <宿泊期日：7月6日(水)・7日(木)・8日(金)> (S:シングル T:ツイン)

地図番号	ホテル名	部屋タイプ	熊本駅より	宿泊料金 (円)			
				記号	1名1室利用	記号	2名1室利用
①	ホテル日航熊本	シングル・ツイン	市電15分	①-S	14,000	①-T	12,000
②	熊本ホテルキャッスル	シングル・ツイン	市電15分	②-S		②-T	
③	熊本和数奇司館	シングル・ツイン	市電15分	③-S	10,000	③-T	9,000
④	アークホテル熊本	シングル・ツイン	市電15分	④-S	8,500	④-T	8,000
⑤	三井ガーデンホテル熊本	シングル・ツイン	市電10分	⑤-S	8,000	⑤-T	7,000
⑥	チサンホテル熊本	シングル・ツイン	市電10分	⑥-S		⑥-T	
⑦	熊本交通センターホテル	シングル・ツイン	市電10分	⑦-S		⑦-T	
⑧	熊本東急イン	シングル	市電10分	⑧		-	-
⑨	熊本ワシントンホテルプラザ	シングル・ツイン	市電10分	⑨-S	7,000	⑨-T	6,000
⑩	リバーサイドホテル熊本	シングル	市電10分	⑩			-

- (1) 上記一覧表の中から、申込み記号を申込書にご記入下さい。
- (2) 宿泊料金については、1泊朝食付(税・サ込)にていずれもお一人様の宿泊料金となります。  
※尚、1室3名様以上をご希望の場合は、お問い合わせください。
- (3) 宿泊施設は、熊本市内をご用意致します。(その他何かご希望がございましたらお知らせください。)
- (4) 1室2名様以上のご希望をされる場合は、必ずお申込書備考欄に同室希望者名をご記入下さい。
- (5) 宿泊ご希望は、必ず第2希望までご記入下さい。
- (6) ご予約は先着順とさせていただきます。ご希望のホテルが満室の場合、他のホテルにて変更をお願いさせていただきますので予めご了承下さい。

## 22 国内旅行傷害保険のご案内

<3日間：7月6日(水)～8日(金)> 保険料／500円

大会参加中のお怪我や盗難など、万が一の場合に下記の内容を補償致します。

死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	賠償責任	携行品	救護者費用
1,239万円	10,000円	6,000円	3,000万円	5万円	50万円

## 23 交通機関のご案内

大会参加にあたり、九州各地及び沖縄地区より航空機、JR等ご利用の方は、最寄りの弊社各支店にご相談下さい。

### ○阿蘇くまもと空港からのご案内

空港リムジンバス (670円)

阿蘇くまもと空港 ===== 交通センター (約50分)

※阿蘇くまもと空港のご乗車場所は1番のりばです。

### ○JR熊本駅からのご案内

市電 (150円)

徒歩

JR熊本駅 ----- 花畑町電停 ..... 崇城大学市民ホール (約20分)

### ○交通センターからのご案内

徒歩

交通センター ..... 崇城大学市民ホール (約2分)

## 24 個人情報の取り扱いについて

(1) 弊社熊本支店は、本大会に際しご提出いただいた個人情報につきましては、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の手配の為に利用させていただくほか、必要な範囲内において当該機関等に提供させていただきます。また精算等の関係上、保管期間は本大会終了後最長1年間までとし、期間終了後速やかに破棄させていただきます。

(2) 上記のほか、弊社の個人情報の取り扱いに関する方針については、弊社の店頭またはホームページでご確認下さい。(http://www.mwt.co.jp/info/kojinjohohogo.shtml)

## 25 参加申込み方法と申込み先、お支払い方法のご案内

(1) 申込み手続き(大会参加・分科会・保育士会セミナー・交流会・航空機・宿泊・弁当・視察・保険)別添の申込書に必要事項をご記入のうえ、下記申込み先へFAXまたは郵送して下さい。

### (2) 申込み先

<p>&lt;旅行会社&gt;：名鉄観光サービス(株) 熊本支店 【担当：野田・堀川・服部】                  〒860-0804 熊本市辛島町5-1 日本生命熊本ビル4F                  TEL：096-354-4351 / FAX：096-354-4359                  ■営業日(時間) 平日のみ 09：00～18：00                  ※土曜・日曜・祝祭日は休業となっております</p>
---

### (3) 申込み締切り

**締切日： 5月13日(金) 必着**

### (4) 申込み後のご案内

①申込み書受信(受取)の確認をFAXにてご返信致します。

(※万一受付確認の通信がない場合にはお問い合わせ下さい)

全体会場：崇城大学市民ホール

分科会

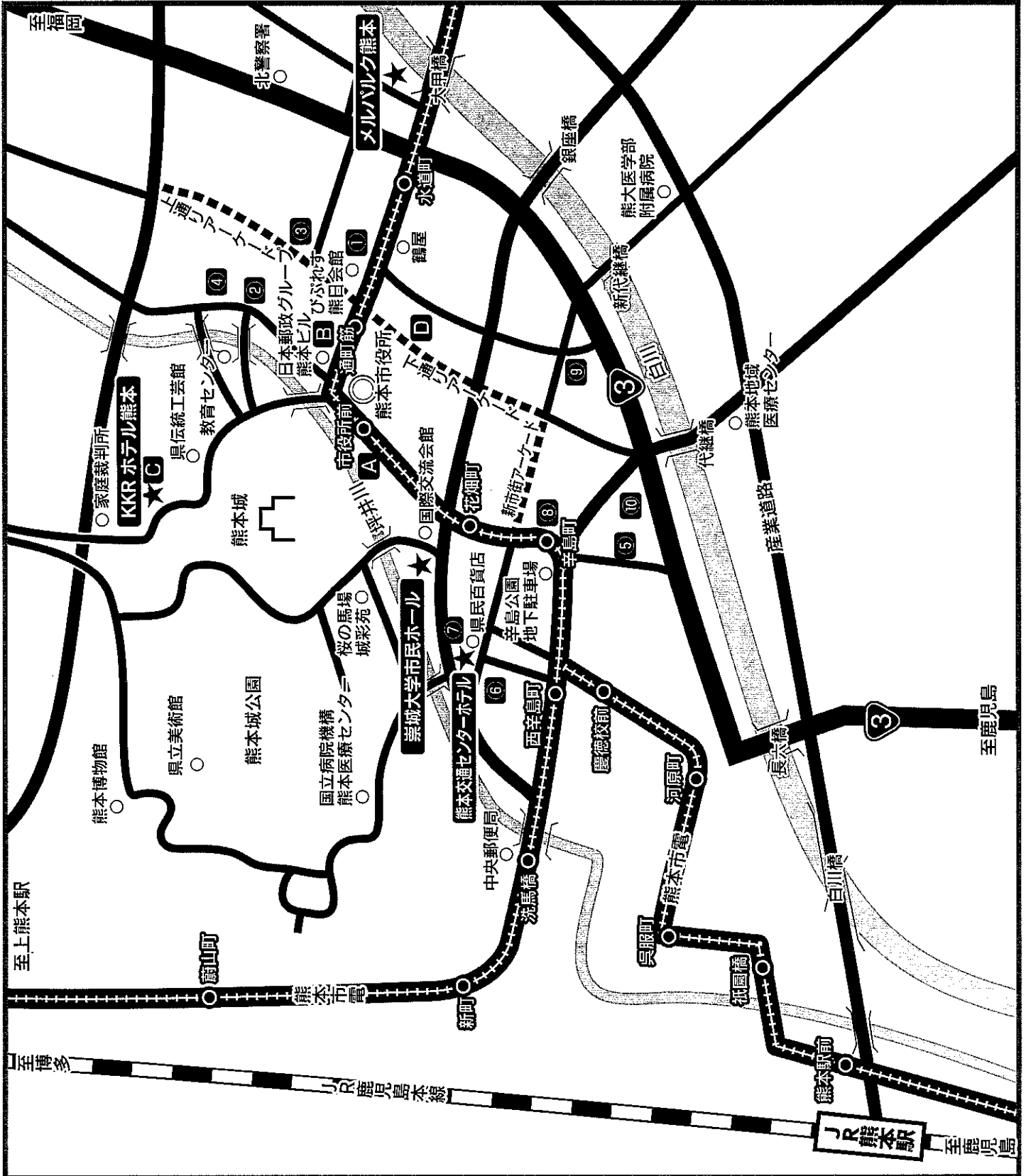
分科会	会場
第1分科会	KKR ホテル熊本
第2分科会	メルパルク熊本
第3分科会	熊本交通センターホテル
第4分科会	メルパルク熊本
第5分科会	熊本交通センターホテル
第6分科会	KKR ホテル熊本
第7分科会	KKR ホテル熊本
第8分科会	熊本交通センターホテル
特別分科会	崇城大学市民ホール大会議室

グルメコースのご案内

地図記号	コース
A	Aコース『城見橋』
B	Bコース『宮乃屋 上通店』
C	Cコース『KKR ホテル熊本』
D	Dコース『紅蘭亭』

宿泊施設

地図番号	ホテル名
①	ホテル日航熊本
②	熊本ホテルキャッスル
③	熊本和数奇司館
④	アークホテル熊本
⑤	三井ガーテンホテル熊本
⑥	チサンホテル熊本
⑦	熊本交通センターホテル
⑧	熊本東急イン
⑨	熊本ワシントンホテルプラザ
⑩	リバーサイドホテル熊本



※この申込書はコピーしてご利用下さい。

第59回九州保育事業研究大会(熊本大会)参加宿泊等申込書 ( 新規・変更・取消 )

☆申込締切日 平成23年5月13日(金)必着 \*「個人情報取扱について」に同意の上、参加申込下さい。

☆お申込先 FAX 096-354-4359

県名	ふりがな	ふりがな	名鉄観光記入欄			
住所	園名	申込代表者名				
		○をおつけ下さい				
		1	2	3	4	TEL
		公立	私立	行政	その他	FAX

No.	フリガナ 参加者氏名	性別	年齢	職名	参加費	希望分科会				交流会	宿泊希望				昼食(弁当)	国内旅行 傷害保険 500円	合計金額	備考
						第1 希望 希望	第2 希望 希望	第3 希望 希望	保育士会 セミナー 参加		7/6(水) 8,000円	申込 番号	7/6(水) 前泊	7/7(木) 当日泊				
(例)	クマモト タロウ 熊本 太郎	男	39	園長	10,000円 ○	1	3	4	○	8,000	○	○	○	○	○	○	88,300円	同室希望者 クマモト タロウ 熊本 次郎
1																		
2																		
3																		
4																		
5																		
費用合計																円		

\* 申込書のコピーを控えとして、必ずお手元に保管下さい。

\* 大会参加のみの方も記入下さい。

\* 追加・変更・取消の場合はお申込み控えにご記入の上、下記送FAXにてご連絡下さい。

\* 分科会は、第3希望まで、宿泊ホテルについては、第2希望まで必ずご記入下さい。

\* ご返金の際の振込先口座を必ずご記入下さい。

\* 宿泊で同部屋をご希望の方は、同室者名をご記入下さい。

\* 費用の納入につきましては、6月中旬に名鉄観光熊本支店より各種参加券と一緒に請求書を送付いたしますので、指定の期日までにお振込  
お願いいたします。

(申込み・お問い合わせ先)

名鉄観光サービス(株) 熊本支店

〒860-0804 熊本市幸島町5-1日本生命熊本ビル4F

tel 096-354-4351 fax 096-354-4359

担当:野田・堀川・服部

金融機関	支店名	口座種目	口座番号	口座名義

23 九社保協保第 20 号  
平成 23 年 3 月 25 日

九州各県保育士会 会員 様

九社連保育協議会保育士会  
会 長 牧野 多津子  
(公印 略)

## 第 23 回九州ブロック保育士会セミナーの開催について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記セミナーを下記のとおり開催いたします。

このセミナーは、全国保育士会の助成事業で、保育士会会員一人ひとりに中央組織の活動状況や組織活動の意義についてパイプを通し、各県の代表がどのように組織に関わっているかの見解に立ち、組織構成の一員としての自覚をもって、子どもの幸せのための手つなぎを深め、保育士会の充実強化を目的とするものです。

また、その年度最も大切な問題をテーマに掲げ、九州ブロックが共通の問題意識をもって、日々の保育に取り組むことを目的とした講演会をあわせて開催いたします。

各県より多数の出席をお待ちしております。

なお、参加希望者は『第 58 回九州保育事業研究大会申込書』にてお申し込みください。

### 記

1 日 時：平成 23 年 7 月 7 日（木） 16：30 ～ 18：30  
(分科会終了後)

2 場 所：「KKR ホテル熊本」  
所在地 〒860-0001 熊本県熊本市千葉城町 3-31

3 研修内容

1) 全国保育士会活動状況報告

2) 講演テーマ

『さまざまな課題を持つ子どもや保護者の支援』

講 師：牧野 桂一 氏

(筑紫女学園大学文学部 日本語・日本文学科 教授)